

# 全国大会エクスカージョンツアー 琵琶湖疏水はんなりツアー ～映える土木をドボジョが巡る～ 開催報告

タイトル	全国大会エクスカージョンツアー 琵琶湖疏水はんなりツアー ～映える土木をドボジョが巡る～
主催	公益社団法人土木学会関西支部
協力	関西電力株式会社
日時	2022年 9月15日(木) 13:00～18:00
参加者数	16名

## ■はじめに

土木学会全国大会エクスカージョンの女性限定ツアーとして、「琵琶湖疏水はんなりツアー ～映える土木をドボジョが巡る」と題して、琵琶湖疏水記念館、インクライン、田邊朔朗像、南禅寺水路閣、ねじりまんぼを散策、さらに関西電力株式会社のご協力を得て、蹴上発電所の見学を行い、無鄰菴での庭園見学および交流会を行いました。

琵琶湖疏水は、琵琶湖から京都へ水を運ぶ事業であり、滋賀県大津市観音寺から京都市伏見区堀詰町までの全長約20kmの「第一疏水」、第一疏水の北側を全線トンネルで並行する全長約7.4kmの「第二疏水」、京都市左京区の蹴上付近から分岐し北白川に至る全長約3.3kmの「疏水分線」などからなります。

今回の企画では、10代から60代までの幅広い年齢層の方々が参加され、女性限定ツアーということもあり、和気あいあいとした雰囲気ですべて終えることができました。

## ■散策(琵琶湖疏水記念館、インクライン、田邊朔朗像、南禅寺水路閣、ねじりまんぼ)

今回の企画では琵琶湖疏水に関する施設の散策を行いました。9月中旬の開催で、気温が30度を超える炎天下の中での散策となり、注意事項として事前に水分の購入や塩飴の配布、気分がすぐれなくなった場合はすぐにスタッフに申し出ること等を伝えました。実際の散策では、より琵琶湖疏水に関する知識を深めてもらいながら散策していただくこと、5名のスタッフがそれぞれの散策スポットの解説を行いました。

まず、琵琶湖疏水記念館では、ジオラマを用いて疏水関連施設がどのようにつながっているのかを説明しました。次にインクラインでは、高低差がある中移動していただき、レールを止めている釘が犬の形の犬釘と亀の形の亀釘があること等を説明し、皆で2種類の釘を探しながら蹴上船溜まで移動しました。水路閣では単なる観光資源ではなく現在も京都の水事情を支える現役の構造物として機能していること、また平成20年に水路閣の橋脚にひび割れが発見され、調査検討が行われているという土木的な一面も説明しました。次に移動したねじりまんぼでは、何故ねじりながらレンガを積む必要があったのか、コンクリートが主流になったことで継承されなかった幻の技術が今なお存在し続ける当時の技術力の高さを学びながら実際の構造物を見学しました。

## ■蹴上発電所見学

関西電力株式会社様のご協力のもと、普段はなかなか入ることができない蹴上発電所の見学を行いました。30分の座学と30分の発電所見学でしたが、炎天下の中1時間ほど散策していたということもあり、エアコンが効いた施設での30分の座学で集中しながらも休憩できたと思います。発電所見学では水車が高速で回転している場面や外壁を水路閣をイメージしたおしゃれな外観にしていることなど、発電に関する技術や歴史とともに様々なことを学ぶことができました。また、記念写真用にと見学日が記載されたプレートも準備くださり、参加された皆様も喜んで撮影されていました。

## ■無鄰菴での庭園見学および交流会

無鄰菴では、当初2階の部屋を貸し切り、参加者全員で交流会を行う予定でしたが、コロナ対策の為16名が2班に分かれ、1班目は庭園見学を行ったあとに交流会、2班目は交流会を行ったあとに庭園見学を行いました。庭園見学では専門の庭園コンシェルジュに琵琶湖疏水を用いた庭園であることを説明いただき、交流会では学生と社会人がチームになるように班分けを行い、会話が無くなるように3枚の質問カードを用意し、交流を行いました。当初会話が弾まなかったらと心配していましたが、大変盛り上がりつつありました。

## ■ご参加の皆さまへ

この度は、土木学会全国大会エクスカージョンツアー「琵琶湖疏水はんなりツアー ～映える土木をドボジョが巡る～」にご参加いただきありがとうございました。皆さまのご協力により、無事にツアーを終えることができましたこと、心より御礼申し上げます。

皆さまよりいただいたご意見につきましては、今後の学会行事や企画に活用させていただきます。

土木学会では、今回のような催しを今後も企画していければと思っております。興味がある企画がございましたら、是非ご参加いただけますようお願いいたします。ありがとうございました！

## ■見学先関係者の皆さま

今回の蹴上発電所の見学に際し、関西電力株式会社の皆様には、蹴上発電所に関する歴史、施設見学、琵琶湖疏水との関係、その他、事前の記念写真撮影用の準備等、猛暑の中ご協力頂いたこと、心より感謝申し上げます。

参加の皆さまからは、「楽しかった」「また参加したい」等、多くの感想をいただいております。今後とも土木学会の活動に、ご支援ご協力の程、宜しく願い申し上げます。